

つちおと

5/18(水)

～ 戸倉のかき養殖、ASC認証を取得 ～

南三陸町の宮城県漁協志津川支所戸倉かき生産部会が国内で初めてASC (Aquaculture Stewardship Council: 水産養殖管理協議会) の認証を取得し、5月18日に伝達式が行われました。

式では、オランダにあるASC本部の代表ジョン・ホワイト氏から後藤清広かき部会長に認証状が手渡されました。

ASCの認証取得にあたっては、海的环境及び地域社会に配慮した養殖かどうかの基準を満たすことが必要で、取得すると、製品にエコラベルを貼ることが許されます。

日本初の認証取得であり、国内の知名度はまだそれほどありませんが、今後環境への関心が高い層の消費が増える事や、同様の取り組みの広がりが期待されます。



ASC本部代表から認証状が手渡された



町も情報発信していきたいとのこと



多くの関係者が式に参加

5/26(木)

～ 気仙沼市南郷雨水ポンプ場 着工 ～

気仙沼市南郷雨水ポンプ場建設の安全祈願祭が5月26日に行われ、平成30年3月の供用開始にむけた工事が進められています。

気仙沼市の神山川左岸の本郷・南郷・田中前地区は、東日本大震災による地盤沈下のため、大雨等による冠水が発生することから、雨水の排水施設整備が急務となっていました。ポンプ場の完成後は神山川左岸排水区域182.6haの排水機能が改善され、住民の安全が確保されることになります。

一連の対策費は約51億円(復興交付金)で、ポンプ場は、鉄筋コンクリート造(地下1階、地上一部3階)で、毎秒9.8m³の排水能力を有し、運転の監視・操作は24時間体制で気仙沼終末処理場から遠隔で行われることになります。

工事説明のパネル

5/16^月

～ 南三陸町地域おこし協力隊 委嘱 ～

5月16日、南三陸町地域おこし協力隊の委嘱状交付式が行われました。今回委嘱されたのは3名で、それぞれ民泊推進専門員、農業産業支援員、地域資源活用事業化支援員として活動していくことになります。

地域おこし協力隊とは、地域に住民票を移して、1年以上3年以下の間地域協力活動を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組。総務省が支援を行っています。

南三陸町に家を借りて住み、南三陸町に人を増やすお手伝いができればと意気込みを語る、若者たちのこれからの活躍が期待されます。



地域おこし協力隊と副町長

5/25^水

～ スイスツェルマツト視察報告会 ～

5月25日、気仙沼市役所において（一社）リアス観光創造プラットフォームによる「気仙沼市・三陸沿岸地域日本版DMO構築事業による海外先進地視察報告会」が行われました。

DMO（Destination Management/Marketing Organization）とは、観光地経営の視点から地域づくりの舵取り役を行う法人のこと。

今回の報告会は、DMOの先進地スイス連邦ツェルマツトに今年3月に行った視察についてで、視察メンバーからは、住民の観光をやらなければ地域が成り立たないという危機意識が発点であること、データに基づくマーケティングを行い、気仙沼の優れた観光資源をいかに活かすか等について発表がなされました。

参加者からは時間いっぱいまで質問が活発に出され、市民の関心の高さが伺えました。



報告会を行った視察メンバー

5/30^月～31^火

～ 公共用地の取得に関する説明会 開催 ～

宮城県、気仙沼市、南三陸町の用地取得事務を担当する職員を対象とした、「公共用地の取得に関する説明会」が開催されました。

この説明会は「用地取得加速化支援策」の一環として、関係機関の協力を得て復興庁が実施しているものです。

これから増加する用地取得を踏まえた内容で、「財産管理制度」や「用地補償に関する税務」などの7つのカリキュラムで構成されています。2日間の講習には、県・市・町の用地取得事務を担当する職員23人が参加しました。

今後も市町によりそい、復興事業の進展に向けて支援してまいります。



初任者向けに、基礎的な内容から説明

復興関連イベント

各地で開催される
復興イベントをご紹介します。

【7月下旬～】小田の浜海水浴場海開き&アイランドフェス【気仙沼市・大島】

梅雨が明ければ待ちに待った海水浴シーズン到来です！

汽船でウミネコさんと戯れながらの往復も楽しめる、別名緑の真珠・気仙沼大島の小田の浜で夏を満喫しませんか^^♪

7月30日（土）には、人と海との距離を縮める学びやアクティビティなどが盛りだくさんの【アイランドフェス】も開催予定です。

大島の海の透明度は、地元の私たちもハッとするほどです。うづぐすいんだでば～

◇気仙沼大島観光協会 HP → <http://www.oshima-kanko.jp>



◆ 問①～⑦を意味する気仙沼地方の方言は何でしょうか。
◆ 最後は色付きの枠に入る文字を並べて、言葉を作りましょう。

問① つじつまの合わないこと。

あ っ ー ー っ ー

問② あおあざ

ー ろ じ

問③ 腹が立つ

ー ー や げ る

問④ 飲み会（晴れざい）

お て ー き ー つ り

問⑤ 包丁

ー い ー よ

問⑥ じっとしている

ち ー ー て ろ

問⑦ 上着

ー わ っ ー り

問① 問② 問③ 問④ 問⑤ 問⑥ 問⑦

この山には50万本のツツジが咲いているといわれているよ



【編集後記】

◆ 8月のサンマの本漁期開始に向けて、気仙沼の造船所では新造されたサンマ漁船が続々と進水しています。

また、先日は気仙沼水揚げのカツオをお刺身でいただいたところです。

一方で、我が家の炊飯器は不調。カツオやサンマのためにも新しい炊飯器が必要かもしれません。

（前号のパズルの回答）

問① 煮る。

あ め る

問② 種族っぽい人。

い ん ぴ ん か だ り

問③ どうした？

な じ よ し た

問④ イカの塩辛。

き り こ み

問⑤ 問⑥ 問⑦

め か じ き

唐桑 漁火パークにて



これまでに発行した「つちおと」は、復興庁ホームページで御覧いただくことができます。

- ①復興庁のホームページ
- ②宮城復興局
- ③気仙沼支所だより「つちおと」

「つちおと」発行元（お問い合わせ先）

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所
電話 0226-23-5301
FAX 0226-23-5310

復興庁ホームページ
<http://www.reconstruction.go.jp/>